

◆ 2003年 第 29 週 (7/14~7/20) の感染症発生動向

■ 全数把握感染症の発生状況

- 1~3類感染症 : 10 件、O-26 10 件(東讃)
- 4類感染症 : 1 件 梅毒 1 件(高松)

■ 定点把握感染症の発生状況

☆ 比較は定点あたりの人数による

- 咽頭結膜熱の報告が増加、高松地区で特に多く見られ、5 地区が流行警報地区となっている
- 手足口病・ヘルパンギーナが流行中、両疾患とも 5 地区が流行警報地区となっている

2003 年第 29 週の感染症発生動向調査による報告患者総数は 674 人で、前週(606 人)比 111.2%となった。ヘルパンギーナは引き続き増加した。県内全域で流行しており、5 地区で流行警報地区となっている。手足口病は横ばいである。県内全域で流行しており、5 地区が流行警報地区となっている。感染性胃腸炎(ウイルス)は減少した。中讃地区からの報告が多い。咽頭結膜熱は大きく増加した。高松地区で特に多くの報告が見られ、5 地区が流行警報地区になっている。突発性発疹は増加した。坂出・小豆地区からの報告が多い

◆ 今週の上位疾患

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
① ヘルパンギーナ	7.8 人	7.3 人	106.4%	3.4 人	5.0 人	中讃↗ 坂出↗ 小豆↘
② 手足口病	5.3 人	5.4 人	97.7%	4.0 人	2.6 人	東讃↘ 西讃→ 高松↗
③ 感染性胃腸炎(ウイルス)	2.0 人	2.6 人	78.3%	3.0 人	1.6 人	中讃↗ 坂出→ 高松↘
④ 咽頭結膜熱	1.8 人	0.6 人	295.0%	0.6 人	0.4 人	高松↗ 琴平↗ 東讃↗
⑤ 突発性発疹	1.2 人	0.7 人	176.2%	0.8 人	1.1 人	坂出↗ 小豆↗ 中讃→

◆ 病原微生物検出情報

細菌	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
C.jejuni	1	糞便	7/2	高松	急性大腸炎
ウイルス	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
なし					

◆ 定点医療機関からのコメント

- 永井小児科医院(高松市):4 歳、7 歳男児 チェック AD(+) 4 歳女児 チェック AD(+) 2 名
- 西岡医院(高松市):キャンピロバクター 1 名
- 三好医院(東かがわ市):アデノチェック Ad 陽性 6 名
- 坂出市立病院(坂出市):9 歳男児 サルモネラ O-9
- もりもとこどもクリニック(丸亀市):キャンピロバクター 1 名

◆ 気象通報

第 29 週の平均気温 : 24.5°C(過去の 30 年の平均気温 : 26.8°C)
 第 29 週の平均湿度 : 70.3%

地区別発生状況

Table showing disease incidence by region (高松市, 小豆, 東讃, 坂出, 中讃, 琴平, 西讃) with columns for disease name, current week, and previous weeks. Includes a summary row at the bottom.

※ 地区別定点数の内訳

Table detailing the breakdown of fixed points by region and disease type (e.g., 高松市 小児科 8).

各地区の流行状況
流行警報地区
流行注意地区

年齢別発生状況(人数)

Table showing disease incidence by age group (e.g., -6ヶ月, -12ヶ月, 1歳, etc.) with a total column on the right.

◆ 2003年 第 29 週 (7/14~7/20) の感染症発生動向

■ 全数把握感染症の発生状況

- 1~3類感染症 : 10 件、O-26 10 件(東讃)
- 4類感染症 : 1 件 梅毒 1 件(高松)

■ 定点把握感染症の発生状況

☆ 比較は定点あたりの人数による

- 咽頭結膜熱の報告が増加、高松地区で特に多く見られ、5 地区が流行警報地区となっている
- 手足口病・ヘルパンギーナが流行中、両疾患とも 5 地区が流行警報地区となっている

2003 年第 29 週の感染症発生動向調査による報告患者総数は 674 人で、前週(606 人)比 111.2%となった。ヘルパンギーナは引き続き増加した。県内全域で流行しており、5 地区で流行警報地区となっている。手足口病は横ばいである。県内全域で流行しており、5 地区が流行警報地区となっている。感染性胃腸炎(ウイルス)は減少した。中讃地区からの報告が多い。咽頭結膜熱は大きく増加した。高松地区で特に多くの報告が見られ、5 地区が流行警報地区になっている。突発性発疹は増加した。坂出・小豆地区からの報告が多い

◆ 今週の上位疾患

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
① ヘルパンギーナ	7.8 人	7.3 人	106.4%	3.4 人	5.0 人	中讃↗ 坂出↗ 小豆↘
② 手足口病	5.3 人	5.4 人	97.7%	4.0 人	2.6 人	東讃↘ 西讃→ 高松↗
③ 感染性胃腸炎(ウイルス)	2.0 人	2.6 人	78.3%	3.0 人	1.6 人	中讃↗ 坂出→ 高松↘
④ 咽頭結膜熱	1.8 人	0.6 人	295.0%	0.6 人	0.4 人	高松↗ 琴平↗ 東讃↗
⑤ 突発性発疹	1.2 人	0.7 人	176.2%	0.8 人	1.1 人	坂出↗ 小豆↗ 中讃→

◆ 病原微生物検出情報

細菌	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
C.jejuni	1	糞便	7/2	高松	急性大腸炎
ウイルス	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
なし					

◆ 定点医療機関からのコメント

- 永井小児科医院(高松市):4 歳、7 歳男児 チェック AD(+) 4 歳女児 チェック AD(+) 2 名
- 西岡医院(高松市):キャンピロバクター 1 名
- 三好医院(東かがわ市):アデノチェック Ad 陽性 6 名
- 坂出市立病院(坂出市):9 歳男児 サルモネラ O-9
- もりもとこどもクリニック(丸亀市):キャンピロバクター 1 名

◆ 気象通報

第 29 週の平均気温 : 24.5°C(過去の 30 年の平均気温 : 26.8°C)
 第 29 週の平均湿度 : 70.3%

◆ 2003年 第 29 週 (7/14~7/20) の感染症発生動向

■ 全数把握感染症の発生状況

- 1~3類感染症 : 10 件、O-26 10 件(東讃)
- 4類感染症 : 1 件 梅毒 1 件(高松)

■ 定点把握感染症の発生状況

☆ 比較は定点あたりの人数による

- 咽頭結膜熱の報告が増加、高松地区で特に多く見られ、5 地区が流行警報地区となっている
- 手足口病・ヘルパンギーナが流行中、両疾患とも 5 地区が流行警報地区となっている

2003 年第 29 週の感染症発生動向調査による報告患者総数は 674 人で、前週(606 人)比 111.2%となった。ヘルパンギーナは引き続き増加した。県内全域で流行しており、5 地区で流行警報地区となっている。手足口病は横ばいである。県内全域で流行しており、5 地区が流行警報地区となっている。感染性胃腸炎(ウイルス)は減少した。中讃地区からの報告が多い。咽頭結膜熱は大きく増加した。高松地区で特に多くの報告が見られ、5 地区が流行警報地区になっている。突発性発疹は増加した。坂出・小豆地区からの報告が多い

◆ 今週の上位疾患

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
① ヘルパンギーナ	7.8 人	7.3 人	106.4%	3.4 人	5.0 人	中讃↗ 坂出↗ 小豆↘
② 手足口病	5.3 人	5.4 人	97.7%	4.0 人	2.6 人	東讃↘ 西讃→ 高松↗
③ 感染性胃腸炎(ウイルス)	2.0 人	2.6 人	78.3%	3.0 人	1.6 人	中讃↗ 坂出→ 高松↘
④ 咽頭結膜熱	1.8 人	0.6 人	295.0%	0.6 人	0.4 人	高松↗ 琴平↗ 東讃↗
⑤ 突発性発疹	1.2 人	0.7 人	176.2%	0.8 人	1.1 人	坂出↗ 小豆↗ 中讃→

◆ 病原微生物検出情報

細菌	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
C.jejuni	1	糞便	7/2	高松	急性大腸炎
ウイルス	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
なし					

◆ 定点医療機関からのコメント

- 永井小児科医院(高松市):4 歳、7 歳男児 チェック AD(+) 4 歳女児 チェック AD(+) 2 名
- 西岡医院(高松市):キャンピロバクター 1 名
- 三好医院(東かがわ市):アデノチェック Ad 陽性 6 名
- 坂出市立病院(坂出市):9 歳男児 サルモネラ O-9
- もりもとこどもクリニック(丸亀市):キャンピロバクター 1 名

◆ 気象通報

第 29 週の平均気温 : 24.5°C(過去の 30 年の平均気温 : 26.8°C)
 第 29 週の平均湿度 : 70.3%

